

あやがわ

# 議会だより



秋の小学校運動会

2007

No. 6

平成19年10月19日

定例会のあらまし	2
監査報告	3
一般質問	4~5
委員会報告	6~7
編集後記	8

## 8議案原案どおり可決

平成19年第4回定例会は9月20日から27日までを会期として開催しました。町長から提案理由の説明、監査報告、4人の議員による一般質問に続き、平成19年度一般・特別会計補正予算、「綾川町環境保全協力金条例」など8議案と報告案件2件、また議員発議による「公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する意見書」が提出され、いずれも原案どおり可決しました。なお、平成18年度決算認定については、決算審査特別委員会に付託し、12月までの継続審査としました。今議会の傍聴者は1人でした。



9月定例会（本会議）

### ETC車載器設置補助金に250万円

#### 補正予算

##### 一般会計

歳入歳出それぞれ1億63万2000円を増額補正し、補正後、予算総額は84億1063万2000円となりました。

歳入面では財政調整基金繰入金として1億270万4000円が主なものです。

一方、歳出面では、羽床小学校大規模改造工事に2000万円、ごみ処理費に1310万9000円、自治公民館整備事業費補助金に500万円、

懸案事項である、府中湖パーキングエリアに、ETC専用のインターチェンジの社会実験支援策として、車載器を車輛に設置した者に対し、補助金として250万円を計上しています。（1台あたり5000円）

#### 特別会計（主なもの）

##### ◎町営バス運送事業

町営バスの運行形態および運行路線の見直しにより、時刻表印刷費、バス停設置工事など、425万6000円を計上しています。

#### 意見書を可決

### 公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する意見書

建設産業は日本の基幹産業として今日まで社会資本整備と雇用機会の確保に大きく貢献している。（中略）しかしながら、近年の緊縮財政の下、建設工事の中心となる公共工事が減少し、企業間の受注競争が激化の一途をたどっている。（中略）従って、国及び関係機関においては、建設労働者の適正な労働条件を確保するとともに、公共工事の品質が適切に確保されるよう、下記事項を実行されるよう強く要望する。

- 1、公共工事において建設労働者の適正な賃金が確保されるよう「公契約法」の制定を検討すること。
- 2、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」の附帯決議事項の実効ある施策を図ること。以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成19年9月27日

香川県綾歌郡綾川町議会

提出先  
衆議院議長・参議院議長、内閣総理大臣、国土交通大臣、厚生労働大臣、総務大臣



ETC車載器

#### 決算審査特別委員会のメンバーが決まりました

委員長	長尾 進
副委員長	山亀 英信
委員	松浦 正昭
委員	鈴木 義明
委員	笹川 定義
委員	村瀬 秀則
委員	野中 邦夫
委員	石井 和義

#### 寄付金の報告

学校図書購入費として

○金一封

陶5763番地5  
小松 稔也様

育英事業資金として

○一金10万円也  
北263番地1  
山本 正昭様

#### 臨時会を開催

平成19年第3回臨時会を7月17日開会。議案2件を原案どおり可決しました。

#### 工事請負契約

◎町道長相線道路改良工事

契約金額

8610万円

契約相手

綾上建設(株)

◎林道災害復旧事業塩江

琴南線復旧工事の変更

契約

契約金額

1114万5750円

契約相手

影山建設(株)

# 監査報告



## 平成18年度決算 監査委員の意見

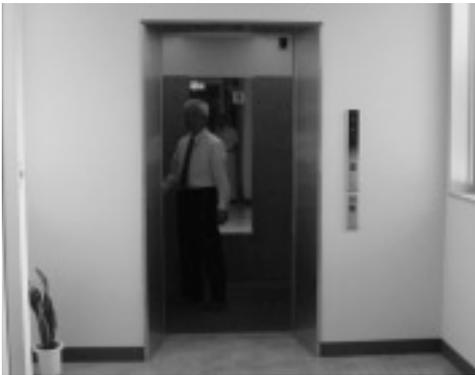
長尾 武夫

### 「平成18年度綾川町一般会計及び特別会計」の

決算について、審査を行いました。法令に基づき提出された証憑書類、関係諸帳簿等を照合し、慎重に審査した結果、いずれも適正であると認められました。

### 行政監査において、

「滝宮保育所」と「陶病院」では、備品台帳および固定資産台帳との照合並びにその他諸帳簿の検査、「綾南中学校」では、「学校給食会とのかわり方」と「給食費の納入方法について」聴取等を実施した結果、いずれも適正かつ、健全な運営に努められ



新設された滝宮公民館内のエレベーター

ていることが確認されました。

平成18年度事業で施工された、「滝宮公民館工レバーター設置工事」、「綾南中学校の外壁補修・改修工事」、「町道長相線の道路改良工事」、「遠郷地区基盤整備促進事業」の計4箇所について、いずれも適正に工事が改修・施工されていました。

### 「旧羽床上小学校の跡地利用」については、昨年

年も申し上げましたが、効果的な運用が早期に出来るよう積極的な推進を引き続き、お願いします。

決算監査を通じて気づいた点は、次のとおりです。

### 町税の収納率向上対策

① 滞納者への交渉は、「呼び出し」や「臨戸」による面接によって、粘り強い納税指導を強化した。

② 払税能力がありながら納付しない悪質滞納者への徹底した財産調

査を行い、差し押さえを実施した。

③ 分納者に対しては、早期納付催告や早期処分に着手した。

以上の対策により、大幅に実績を上げていました。

### 水道料金過年度未収金

額1114万4131円が454万9216円になり、町税同様、大幅な徴収成果を上げていました。

### 業務委託制度の導入

について、医療事務及び受付事務などの業務改善を図り、一歩先のサービス向上を目指し、常にコスト意識を考えながら、歳出削減を含めた行政の効率的な運用がなされるよう検討されては如何でしょうか。

### 各課の業務日誌について

一部は、日々の業務を記載されていますが、今後、全ての課において業務日誌を整備して公務の能率向上を図られるよう、検討願います。

### 財政の健全適正化につ

いて、平成18年度末の借

入金未償還残高は一般会計で57億8032万3451円となっており、経常収支比率が79.4%、一般的に町村にあっては70%が適当とされており

ます。公債費比率は、5.5%で、今後とも、綿密なる行政計画に基づき、健全財政を通じて、更なる財政基盤を強化することが肝要と思います。

### 平成18年度末の基金および積立金は、

41億8147万7000円となっており、今後単年度の財政が圧迫されることのないよう願っています。

### 平成18年度の歳入・歳

出状況について、一般会計の歳入総額は、100億7645万7000円です。自主財源である税収の確保が町の財政基盤の安定化につながります。今後とも、収納率の向上に一層努力されるようお願いいたします。

また、歳出総額は、92億7429万2000円でした。

### 陶病院

総収益で前年対比0.47%の増、総支出で前年対比4.24%の増であり、結果的に4286万円の純利益を得ての決算でした。

将来にわたり良質な医療サービスの提供をしていくために、保健福祉と連携して、住民が健康で生き生きと暮らせる地域包括ケアシステム作りの構築を目指して、将来を含め、健全経営の堅持に努めてほしいと思います。

### 水道事業

経営状況について、綾上・綾南両地区の水道事業を一体的に管理するため、場外監視設備の更新、安定供給に努力されました。

財政状況として、年度末の借入金残高が26億1800万円余となっており、大変厳しい状況にありますが、健全経営によって、安定した給水が今後とも保てるよう、なお一層の努力をお願いします。

(監査意見書抜粋)

# いっばん質問

大谷 照美 議員

**Q** 町おこしについて

**A** 農産物のブランド化を



主基齋田「さぬき米」

**問** 大正4年、大嘗祭に供奉する新穀を栽培する齋田に山田村が決定し、当時の人達は大変名誉なことだと喜んでおりました。齋田記念行事として、近年は、山田の主基齋田と愛知県六ツ美地区の悠紀齋田との交流も密接になってきている。是非このお田植え祭を盛り上げて皇室がおみえになるよう働き掛けようではないかと

**答** 本年も6月24日に主基齋田保存会の主催により「お田植え祭り」が行われ、町内外から大勢の方が見学に来られました。稲作文化の伝承行事として、主基齋田保存会、町

民の方々の協力により現在に引き継がれています。米は、本町の特産品の一つであり、本年度より、町内の早期栽培のコシヒカリを主基齋田「さぬき米」のブランド名で、京阪神地区において限定販売を図ることとしています。町の農産物等のブランド化の推進につきましては、農協とも協議、検討します。

田辺 健次 議員

**Q** 河川管理と防災は？

**A** 県に計画的な事業進捗が図れるよう要望する

**問** 綾川は、多くの上流河川より流入してくる。土砂が堆積し、県は取り除き作業実施しているが、どのように計画されているか。上流は、井堰を慣行として設置されている。米の収穫が終われば未使用となった井堰は一旦取り除き、土砂堆積がないように管理することはできないか。災害予防は少ない経費で実施でき、災害復旧は大きな費用が発生する。自然災害から人



土砂が堆積している井堰

**答** 綾川河川の土砂取り除き作業は、綾上地区では梶羽川合流点付近で5000㎡、綾南地区では御山大橋付近で2000㎡、土砂撤去作業が発注済である。本津川、梶羽川、今滝川は既に作業が終わっている。田万川、備中地川は発注済です。

井堰の管理は毎年4月の自治会長会で「農業用施設災害に備える維持管理者の心得」を配布し、お願いしている。農地の維持管理は自分で守り、本年度から始まった農地・水・環境保全向上対策事業、施設維持管理のための共同作業に対して交付金が交付されま

# A Q 施設と補助 もみじ温泉は 赤字

**問** 施設の赤字対策を検討し、研究されていますか。今年度は増税でスタートした。

**答** 施設の健全経営になるように、地域と話し合い、よい方向に考えてほしいと思う。いつまでもタンクローリー車で水を運ぶ温泉の決算を聞きたい。

クラブ・会の補助は税で人数により交付されていると思う。

決算報告が間違っている、担当課が指導し、訂正した報告をしなければいけないと思う。

どのような指導し、訂正報告したかお聞きする。

**答** 町社会福祉協議会決算につきましては、5月31日に行われ、決算認定をいただいたところである。もみじ温泉の年間利



柏原溪谷を清掃する老人会

用者数3万9599人である。温泉の経理は赤字となっている。

老人クラブへの町からの補助金は均等割と人数割で積算している。審議は決算委員会です。

また、ご指摘のクラブの決算については説明をし、ご理解を得ている。

今後とも公平適切に処理をしていく。

## A Q 安藤 利光 議員

### 長柄ダム、水質汚染の改善を

### 基準値以下でも臨時検査し、追跡調査をする

**問** 長柄ダムの水は緑黒く、泥水以外に多くの泡も浮いて流れているのが見られます。綾川は綾川町の水源です。現在の水道の原水の検査結果、および水質変化による臨時検査、水質悪化の原因究明を。

**答** 水道法に基づき、原水と浄水を定期的に検査している。「1・4ジョッキ

サン」以後、水質基準値を超えてはいない。基準値以下でも高い値の時は臨時検査し、追跡調査をする。今後検査をするかどうか、内部で検討したい。

**Q** 利用しやすい町営バスに

**A** 広く町民のためのバスとしたい

**問** 町営バスは、高齢者や通学のための貴重な手段として役立っています。病院への通院や岡本駅と接続など、路線の見直し

をしては。

**答** 10月より、利用しやすいようにします。滝宮・羽床線で、井手下バス停の新設、上川原バス停を柳屋バス停まで延長。畑田・千足線で新土仏バス停から、山田公民館前バス停まで延長、粉所線の下和田バス停を新設延長、西分線で西蓮、川田バス停を新設し延長、運動公園バス停を廃止し、もみじ温泉前バス停を新設するものです。

### ほかにもこんな質問がありました。

**Q** 郵政民営化前に過疎地を中心に配達ミス、遅配などサービス低下になっているが。

**A** 機会をとらえて従来と変わらないサービスが行われるよう要望していく。

**Q** 町が避難勧告、避難措置を出している基準は。

**A** 総雨量、時間的雨量などで、最終的に災害対策本部長（町長）が決める。

**Q** 県の財政再建策は、住民生活に痛みを伴うが。

**A** 農業試験場整備も22年度に着工が延期されるなど、町も影響を受けており、県に強く要望する。

**Q** 町内で廃業した業者などがある中、町外業者が8月に選定されたが。

**A** 入札は、参加資格基準などにより行っている。町内業者も育成するため、配慮している。今回は、県の入札により、町外業者が落札した特殊なケースである。

# 委員会報告

総務委員会

9/21

## 防犯パトロール

高松西警察署より、青色回転灯を装備した車で、防犯パトロールを行いたいので、町公用車を貸与してほしいとの申し出があり、1台、無償貸付けることになりました。

額は、駐車場10台分を含めて、月額8万円で貸し出す予定である。

**問** 綾歌地区市町村税滞納整理組合の現状は。

**答** 実質上、休眠状態であり、平成17年9月に香川県滞納整理推進機構が設立しているため、平成20年3月31日をもって解散する。

**問** 綾川音頭と町歌の準備は進んでいるか。

**答** 作詞家や作曲家を紹介してもらっている。

**問** 職員の管理職以上は、災害時における指示等、重要な役目を担っているため、地方公務員法との関連で、役場職員としての公務に専念すべ

きでは。  
**答** 消防団員の高齢化が進む中、地域住民の生命・財産、あるいは安全な地域社会を守るため、経験豊富な人員確保を図る上で、職務免除により対応している。法律どおり実施すれば、非常時における消防活動が出来なくなる恐れが生じる。今後十分検討する。

**町営バス事業**  
425万6000円増額  
**問** 町営バスの増額補正内容は。

**答** 運行形態および運行路線の見直しに伴う補正である。旧綾上のバスは廃車して、(株)あさひ交通



運行形態・路線を見直した町民バス



大規模改造工事を行った羽床小学校

の新車が入るので、名称識別塗装をしたり、バス停留所が増えるために、新しくバス停留設置工事費、行き先案内装置などを行うための経費である。

**3264万4500円の変更契約**

**問** 羽床小学校大規模改造工事における、変更契約の内容は。

**答** 外壁の破損箇所の追加や、床の劣化部分の補修、防水改修工事の追加等であり、工期は変更なしである。ただし、27%もの増額は、当初段階で精査するよう、今後気をつけたい。

## 厚生委員会

9/25

### 来年3月に着工

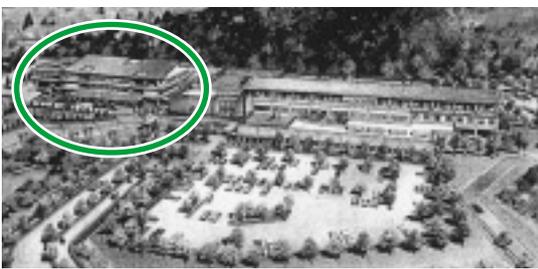
### 老人保健施設

介護老人保健施設の建築設計業務は、陶病院を設計した(株)佐藤総合計画と契約し、行っています。

部屋5室と2人部屋5室を配置。建築面積約2167㎡、延床面積約4060㎡(駐車場などを含めると、4905㎡)、建物の高さは約17.5m。避難経路は、2階はユニットのそれぞれに非常階段がつき、隣接の保健福祉総合センターとつながるため、避難可能である。3階も非常階段を設けることになっている。

**問** 施設整備計画はできず、建築概要、災害時の避難経路はどうか。

**答** 建物は陶病院の西側に、鉄筋コンクリートづくり地上3階建て、1階は事務室、会議室とりハブリ室。2階はユニット型個室30室。3階に4人



左側が綾川町介護老人保健施設完成予想図。右側が現在の陶病院

**問** 設計業者のこれまでの実績と、工事日程は。

**答** 高松市役所、三豊総合病院などを手掛けてきた。工事は、平成20年3月着工、21年5月開所予定。

**駐車場が狭いのでは**

**問** 駐車場が28台と狭い。池も近くにあるが対策は。  
**答** 玄関前にも3台、北側にブロック積みを行うので何台か駐車できる。池については、排水工事、

防護柵の防災対策を行っている。

### 持ち込みに負担金 県内初の条例

問 綾川町に所在する(株)

富士クリーンの最終処分場に、町外の地方公共団体から持ち込まれる一般廃棄物に対し、環境施策の財源にあてるため、協力の負担1トンあたり1000円を求める条例だが、下流には伏流水を飲用し、住民が暮らしているが。

答 長柄ダムの水源、綾川の水源が安全、安心でできる水の大切さは、これまでも認識して対応して



西分角ヶ内地区にある民間の産業廃棄物処理施設

きました。しかし、受入れが直ちに環境に悪影響を与えるものではないが、問題が起きないようにしたい。

472万5000円で契約

問 火葬場の基本計画策定業務は。

答 (株)日本環境工学設計事務所が行います。

現在、徳島県鳴門市で4炉、愛媛県八幡市で3炉火葬場整備をしています。町は8月に472万5000円で契約を行いました。

### 12月に炉メーカーを決定

問 火葬炉のメーカーは複数あるが、なぜ2社からの選定か。また、動物炉は設けないのか。

答 炉メーカーは、新設の場合、全国で8社あるが、主に大手2社に選定されています。県内でも、高松市斎場公園、やすらぎ苑、丸亀市桜谷聖苑らが(株)宮本工業所。三木町のしずかの里、白鳥斎苑が富士建設工業(株)で、2

社のいずれかに決定しており、12月には決めたい。動物炉は時代の流れですが、犬の登録数、需要数からみても少ないので人体の火葬を優先したい。

問 なぜ、どこからくるのか。将来、水量や水源の確保がでてくる。管理はきちんとすべきでは。

答 家庭ごみの処理は、自治体の責任でしなければならぬとなっていてます。今回、三観広域行政組合のクリーンセンター建設計画が白紙状態になった問題で、観音寺市が一般廃棄物の中間処理と最終処分を11月から、町内業者に委託、搬入するものです。期間は一時的で、10トン車で1日約13車程度です。町としては、直接メリットは無いが、環境保全協力金として負担を求めます。

水質問題については、過去に県も調査した時があります。下流には、水田もあるため、環境は今後も守っていくよう努力していきます。

## 建設経済委員会

9/26

# 府中湖スマートインター チェンジETC対応

府中湖インターチェンジの町負担金と社会実験に向けてのスマートインターチェンジ利用促進のためにETC対応車載器に対する補助金を新規に予算計上しました。

問 補助条件の中にある府中湖スマートインター

チェンジを利用することの確認方法はどうか。

答 個人の意思を尊重したい。

問 コーナン商事(株)開発の進捗状況について

答 現在の状況からみて、コーナン商事(株)の許可内容ではまちづくり三法の施行に間に合わないと思われるので、今後の対応について確認し、議会に報告したい。

問 下水道工事完了後、3年以内での接続の規定

があるなか、現在の接続状況についての資料を後日提出するよう、また、接続率の向上に尚一層努めてほしい。

答 8月末現在接続率は81%であり、2154世帯が接続済みである



イオン建設現場

問 イオン(株)の出店において企業としての地域貢献も必要では。またそれについて、町としての指導も必要ではないか。

答 十分にイオン(株)と協議を重ねたい。

問 農地・水・環境保全向上対策事業の進捗状況について

答 現在の協定数については、15地区で、約660haの協定面積があり、今後制度の普及に努めたい。

永富池（綾上地区浄水場水源池）（さぬきのため池詩より抜粋）

○ 昭和の改修工事

昭和46年、改築以来150年近く経過した永富池は、波浪によって、堤体が侵食され、樋管の老朽化とともに、漏水も増加しつつあり、そのうえ、余水吐の断面も不足していたため、常に決壊の危険にさらされていた。一方、綾上町の飲料水や生活用水は、古来から綾川水系の伏流水に恵まれて井戸水を使用してきたが、時代とともに汚染が目立ち、昭和46年には、綾上町議会で簡易上水道の建設を議決した。同時に、その水源は永富池以外にないとの結論から、永富池土地改良区と協議のうえ、ため池等整備事業による永富池の改修に着手した。工事の着工は昭和46年9月11日に起工し、昭和48年3月30日その完成を見たのである。

○ 平成の補強工事

永富池は、平成6年から9年まで4カ年にわたリ、堤体の漏水防止のため、グラフト工による補強工事を国営総合農地防災事業で、行った。今は懸案であった堤防法尻の漏水も止まり、碑文の詩のように綾上、綾南及び綾歌三町の農民たちは、心おきなく営農に励んでいる。



150年余り続いた永富池のゆるぎ

府中ダム（府中湖）（綾南町誌より抜粋）

旧綾南町は、府中ダム築造の影響が大きかった。まず水没問題である。関係地域は陶地区で、庄屋原・内間・讃留尾西、滝宮地区は堂床・松崎・権現・北小路で、関係者は140人にのぼった。水没したのは水田14.64ha、畑55a、宅地22a、山林13.3ha、家屋9戸であった。県との補償交渉は昭和35年から始められ、同39年6月17日に調印式が行われた。こうして古来歴史的にも有名であった景勝地の滝宮の溪流もダムの湖底に沈んだ。プラス面の一つには、ダム周辺地域の灌漑用水が整備されたことである。この地域では夏が来ると川ぶちの田でさえ、干害を受けていた。昭和10年代になるとポンプを入れ綾川から揚水して不足を補っていた。そのため下流の綾北との間に水争いが繰り返されていたのである。それが今では、数か所に揚水ポンプが設置され、これから取水する堂床・松崎・横山等の川西地区と陶・丸山の各用水路が整備された。これらを基盤に土地改良総合整備事業・農村工業導入など各種事業と、堂床・松崎地区に県道綾南府中線と町道新設改良事業により発展した。その結果、モデル農業地域となり、併せて農村工業導入によって企業立地による田園都市的な農業地帯に発展している。



編集後記

◎30度を越す日が毎日続いた夏も、ようやく終り、実りの秋を迎え鎮守の森から鐘・太鼓の音が聞こえる季節となりました。

◎9月議会は、平成18年度決算審査を、決算審査特別委員会に付託することになりました。また、各常任委員会に付託されました補正予算などについては、活発な意見が交わされ、町当局の一層の努力を促す議論となりました。

◎議会だよりをいつもご愛読いただき、ありがとうございます。町民皆様に議会での情報を早く正確に知らせ少しでも親しんでいただけるよう編集委員一同努力しています。ご意見、ご要望をお寄せください。

議会広報編集委員会

- 委員長 中西 一幸
- 副委員長 松浦 正昭
- 委員 山亀 英信
- 委員 長尾 進
- 委員 石井 和義
- 委員 安藤 利光